

関連文化財群 9 竹田が生んだ偉人列伝

瀧廉太郎は日本の西洋音楽黎明期に活躍した夭折の音楽家で、少年時代の約2年半を竹田で過ごした。廉太郎が暮らした武家屋敷は瀧廉太郎記念館となっている。廉太郎が学んだ直入郡高等小学校の跡地の傍らに「瀧廉太郎像」（大塚辰夫作）が、「荒城の月」のモデルになったとされる岡城跡の二の丸には「瀧廉太郎像」（朝倉文夫作）が建っている。遺作「憾^{うらみ}」の手稿譜など、廉太郎の貴重資料が歴史文化館で保管され、「瀧廉太郎記念全日本高等学校声楽コンクール」などの顕彰活動が継続して行われてきた。また、瀧廉太郎像の作者で「東洋のロダン」と称された朝倉文夫も直入郡高等小学校で学んだ一人で、岡藩士渡邊要蔵の次男に生まれた。日本橋麒麟像の作者として著名な彫刻家の渡邊^{おさお}長男の実弟で、大塚辰夫もまた実弟である。3兄弟の彫刻作品17点が旧城下町を中心に点在している。

日露戦争で戦死し軍神となった広瀬武夫は、岡藩士広瀬重武の次男に生まれた。茶屋の辻の生誕地の近くに広瀬中佐の墓がある。昭和10年（1935）に広瀬神社が造営され、武夫と旧直入郡の戦没者1,400名が祀られた。記念館が併設されており、神社には遺品や書簡など多くの資料が残る。広瀬武夫顕彰会による顕彰活動が行われている。そして、童謡「犬のおまわりさん」の作詞で知られる佐藤義美も本市の出身である。生家跡は佐藤義美公園として整備され、稲葉川沿いに佐藤義美記念館が建てられた。竹田よしみ会による顕彰活動が行われ、「さとうよしみ竹田童謡祭」が開催されてきた。

岡藩時代に培われた歴史文化を基盤に、芸術分野のみならず政経や教育など様々な分野で、たくさんの偉人・先人を輩出してきた本市である。偉人・先人顕彰を通して、彼らの人生から多くのことを学ぶことができるのも、本市の大きな魅力のひとつである。



「憾」の自筆譜（部分）



瀧廉太郎銅像（朝倉文夫）



広瀬武夫胸像（渡辺長男）



瀧廉太郎記念館



瀧廉太郎像（大塚辰夫）



佐藤義美記念館

【構成文化財】

【構成文化財】

分類	名称	指定等
1 記念物(遺跡)	岡城跡	国指定
2 有形文化財(建造物)	由学館の門	市指定
3 記念物(遺跡)	広瀬中佐の墓	市指定
4 有形文化財(美術工芸品)	瀧廉太郎関係資料	未指定
5 有形文化財(美術工芸品)	鈴木毅一関係資料	未指定
6 有形文化財(美術工芸品)	佐藤義美関係資料	未指定
7 有形文化財(美術工芸品)	広瀬武夫関係資料	未指定
8 記念物(遺跡)/ガイダンス施設	瀧廉太郎記念館	未指定
9 記念物(遺跡)	佐藤義美生家跡(佐藤義美公園)	未指定
10 由緒地(神社)	広瀬神社	未指定
11 記念物(遺跡)	広瀬武夫生誕地跡	未指定
12 有形文化財(美術工芸品)	田能村竹田像ほか、渡辺長男作品群	未指定
13 有形文化財(美術工芸品)	瀧廉太郎像ほか、朝倉文夫作品群	未指定
14 有形文化財(美術工芸品)	瀧廉太郎像 大塚辰夫作	未指定
15 ガイダンス施設	佐藤義美記念館	—
16 ガイダンス施設	広瀬武夫記念館	—



図 31：竹田が生んだ偉人列伝位置図

関連文化財群 10 祖母山の大自然と大蛇伝説

本市南側に祖母・傾^{そ ば かたむき}山系の山々が連なる奥山が広がる。祖母傾国定公園の範囲に含まれ、急峻な山岳地形や谷あいを走る幾筋もの溪谷など、複雑な地形・地質を見ることができる。また、原生林が多く残され、幅広い植生を見ることができ、ニホンカモシカなど希少な動植物が数多く存在する。麓の複数の谷にまたがる約 16 万㎡の範囲に及ぶ区域はイワメ(無班型アマゴ)の生息地として貴重である。平成 29 年(2017)に祖母・傾・大崩^{おおくえ}ユネスコエコパークに登録されたことで、地域住民による登山道の整備や自然環境の保全活動が盛んに行われるようになってきた。

祖母山は「^{うばだけ}姫岳」とも呼ばれる神体山で、古くから信仰の対象でもあった。健男霜凝日子神社は『延喜式』にも記された古い神社で、祖母山信仰に関わる祭祀を起源とし、^{うばだけだいみょうじん}「^{たけおしもこりひこ}姫岳大明神」とも呼ばれる。祖母山の山頂に上宮(石祠)が鎮座し、麓の^{こうばる}姫岳地区を神原と言い、下宮と神幸所、そして穴森神社が造営されている。穴森神社は『平家物語』巻八の「^{おだまき}緒環」の章に登場する大蛇伝説ゆかりの神社である。姫岳大明神の化身である大蛇が棲んでいたと伝えられる岩窟が神社の御神体となっている。実際に、元禄 16 年(1703)に大蛇の骨がこの岩窟から発見され、宝永 2 年(1705)に藩命によって岩窟を御神体として祀ることになったと記録されている。九州に落ち延びた平家を駆逐した緒方三郎^{これよし}惟栄の 5 代前の祖先が、この神の化身である大蛇と里の娘との間に生まれた子どもであると紹介されているのが「緒環」の大蛇伝説である。

^{みやど}宮砥地区に鎮座する^{みやど}宮砥八幡社も持統天皇 8 年(694)の創建とされ、古い歴史を持つ。「宮砥荒神様」とも呼ばれ、その昔、近くに住む鬼が里人を苦しめていたため、この地域は鬼原の里とも呼ばれていた。この鬼を鎮めるために宇佐八幡を勧請し社を建て、鬼を封じたとされる。大ヒノキの御神木をはじめとする多種多様な樹木が生い茂る社叢に悠久の歴史を体感することができる。この宮砥八幡社に所属する宮砥神楽は、寛文 10 年(1670)以前に創始された竹田固有の神楽として、今日まで継承されてきた。また、祖母山系のひとつ、^{ゆるぎ}緩木山も霊峰であり、現在は麓に緩木神社が鎮座する。養和元年(1181)に^{こうげんじ}高原寺が開かれ、修験の霊場となった。

このように人々は古くから祖母山を信仰し、その大自然の傍らに農村を営み、山の恵みとともに生きてきた。大蛇伝説のような岡城の築城伝説とも関連する本市にとって重要なストーリーも、この祖母山麓地域に伝わっている。



祖母山頂の石祠



穴森神社の拝殿



宮砥八幡社と社叢

【構成文化財】

分類	名称	指定等
1 記念物(動物、植物、地質鉱物)	カモシカ	国指定
2 記念物(動物、植物、地質鉱物)	竹田市神原の大野川水系イワメ生息地	国指定
3 有形文化財(建造物)	井手ノ上石幢	県指定
4 有形文化財(美術工芸品)	穴森神社の御神像3体	県指定
5 民俗文化財(無形の民俗文化財)	宮砥神楽	県指定
6 記念物(動物、植物、地質鉱物)	宮砥八幡社の社叢	県指定
7 記念物(動物、植物、地質鉱物)	祖母山系イワメ	県指定
8 有形文化財(建造物)	二俣石幢	市指定
9 民俗文化財(有形の民俗文化財)	神原獅子舞の獅子頭	市指定
10 民俗文化財(無形の民俗文化財)	緩木獅子	市指定
11 民俗文化財(無形の民俗文化財)	中角獅子	市指定
12 記念物(動物、植物、地質鉱物)	神原のトチ	市指定
13 民俗文化財(無形の民俗文化財)	健男霜凝日子神楽	未指定
14 民俗文化財(無形の民俗文化財)	神原獅子舞	未指定
15 民俗文化財(無形の民俗文化財)	倉木獅子舞	未指定
16 民俗文化財(無形の民俗文化財)	横平白熊	未指定
17 民俗文化財(無形の民俗文化財)	中角白熊	未指定
18 民俗文化財(無形の民俗文化財)	大蛇伝説	未指定
19 記念物(名勝地)	祖母山	未指定
20 記念物(名勝地)	緩木山	未指定
21 記念物(名勝地)	祖母山1合目の滝(暁嵐の滝)	未指定
22 記念物(名勝地)	祖母山5合目の滝(御社の滝)	未指定
23 記念物(名勝地)	鍾淵の滝	未指定
24 記念物(名勝地)	神掛岩	未指定
25 記念物(名勝地)	国観峠	未指定

分類	名称	指定等
26 記念物(名勝地)	神原溪谷	未指定
27 由緒地(神社)	健男霜凝日子神社(上宮・下宮・神幸所)	未指定
28 由緒地(神社)	穴森神社	未指定
29 由緒地(神社)	緩木神社	未指定
30 由緒地(神社)	宮砥八幡社	未指定
31 由緒地(神社)	歳神神社	未指定
32 由緒地(寺院)	高源寺	未指定
33 ガイダンス施設	神の里交流センター緒環	—
34 ガイダンス施設	祖母山麓体験交流施設 あ祖母学舎	—

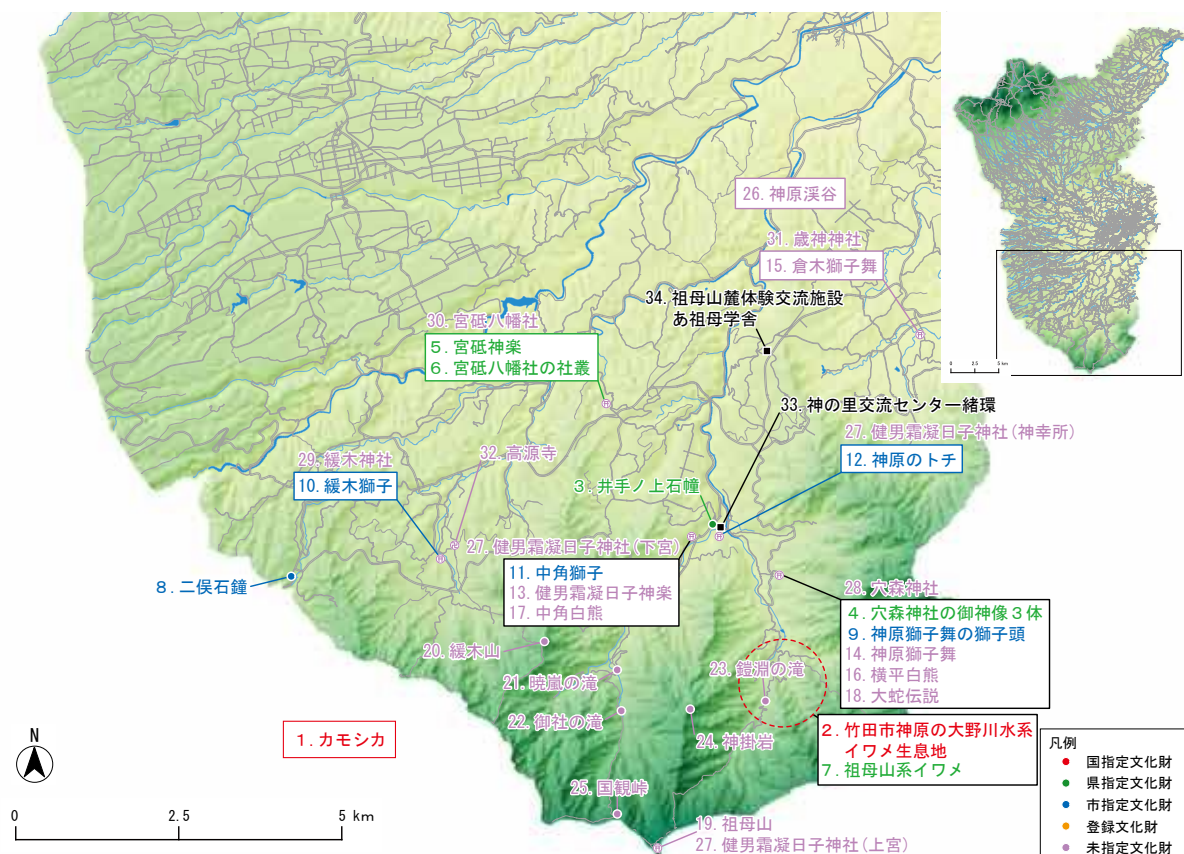


図 32：祖母山の大自然と大蛇伝説位置図